

陸上自衛隊高等工科学校から防衛大学校に合格！ 「あなたは家族の誇りです」



防衛大学校に合格し案内所を訪れた岡野生徒

神奈川地本厚木募集案内所（所長 岡山1海尉）は、1月5日（金）、当案内所を通じて陸上自衛隊高等工科学校に入学した現在3年生の岡野貴晴生徒から、防衛大学校合格の報告を受けた。

来所した岡野生徒は「防衛大学校は高等工科学校に入学する前からの目標でした。1年生の時は、余裕がなく受験勉強に思うようになり組みませんでしたが、2年生からは平日の夜間や休日を活用して勉強を続けました。高校はそれぞれの可能性を応援してくれる学校です。陸自ヘリコプターパイロットを目指し、防大では、航空宇宙工学科とグライダー部を希望しようと思えます。勉強についていけるか不安はありますが、一般の高校の卒業生に負けないよう頑張ります」と話した。

また、防大卒業生の厚木募集案内所長と懇談し、学校生活のアドバイスなどを嬉しそうに聞いていた。

今回の合格について、岡野生徒が小学生の頃から募集案内所を訪れるなどして支え、見守り続けている母親は「周囲の人に、一般の高校に進学してから防大を目指したほうが良いのでは、など色々な事を言われながらも、防大に入りたいたいという、ずっと前からの思いを、ブレずに、流されずに、よく頑張った。あなたは家族の誇りです。あなたの思う立派な自衛官になってほしい」と話していた。

厚木募集案内所は、今後も真心を大切に、一人ひとりを丁寧にサポートしていくとしている。

高校生が神奈川地本募集課を訪れ防大推薦合格を報告



募集課長らと歓談する防大に合格した高校生

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、12月19日（火）、防衛大学校に推薦合格した女子高校生2名の訪問を受けた。

これまで、緊張した様子を見せていた2人だったが、広報官と再会すると笑顔を見せ、合格した嬉しさでも弾んでいるようだった。歓談後、広報官は2人を連れて神奈川地本本部募集課を訪れ、募集課長へ合格の報告を行なった。

その後の募集課長、募集班長を交えての歓談では、試験勉強で苦労したことや当日の試験での思いがけない出来事などを楽しそうに話し、募集課長から面接試験について聞かれると女子高校生は「何か運動はやっていまずかと聞かれ、現在は何もしておりませんが、合格したら始めたいと思います」と話すと、一同は笑いに包まれた。また「模擬面接でアドバイスを頂き、感謝の気持ちでいっぱいです」と話し、終始和やかな雰囲気だった。

溝の口募集案内所は、今後も多くの合格者を輩出できるように募集広報活動に努め、引き続き合格者たちを入隊・入学まで導いていきたいとしている。

「横浜消防出初式2018」で自衛隊をPR



広報活動する神奈川地本マスコット「はまにゃん」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野 太資1等海佐）は、1月7日（日）、横浜赤レンガ倉庫広場で開催された「横浜消防出初式2018」において、広報ブースを設置し、神奈川地本マスコット「はまにゃん」と共に自衛隊をPRした。

当イベントは、市内最大級の市民参加型イベントで、消防や海上保安庁消防船による放水演技、消防音楽隊のドリル演技、救助体験、地元企業による出店やステージショーが行われ、約7万人の来場者で賑わった。

自衛隊ブースでは、災害派遣時の人命救助や給水支援などの写真パネル、非常用糧食を展示し、訪れた来場者の関心を集めた。過去に4回災害派遣に参加した隊員による活動紹介を聞いた市民は「分かりやすかった」「当時の状況を思い浮かべることができ、勉強になった」などと感想を述べていた。また、募集用リーフレット及び、募集用漫画冊子「平和を仕事にする」約500部を来場した若者らに配布し、自衛官募集をPRした。

神奈川地本マスコット「はまにゃん」は、キャラクタールフルあいコーナーにて消防局「ハマくん」や横浜マリノス「マリノスケ」と共に、子供たちの写真撮影に応じるなど、愛嬌あるしぐさで人気を集めた。

神奈川地本は、今後も自衛隊の災害派遣活動を広くPRし、自衛隊への更なる理解に努め、募集成果につなげていきたいとしている。